



DISTRICT 26 AREA4
Zonta Club of Kitakyushu
北九州ゾンタクラブ

北九州ゾンタクラブ 美苑書

Newsletter of Zonta Club of Kitakyushu

Vol.30
2024.05.31



国際指名委員としての2年間



木下 彰子

前期は国際理事として、そして、今期は国際指名委員として活動させて頂きました。

メンバーは、全体担当4人、北・中央・南アメリカ、オーストラリア・ニュージーランド、ヨーロッパ、アフリカ、アジア担当がそれぞれ1人の9人のチーム。

役割は、来季の国際ゾンタの役員(11人)及び、国際指名員(9名)の立候補者を募り、選定する事です。

私が一番驚いたのは、国際ゾンタの役員、指名委員の立候補希望者は大勢いるものと思いきや、ポジションによっては立候補希望者が足りず、2次募集をかけたり、目ぼしいゾンシャンに立候補の要請をしたりという活動が行われなければならないという事でした。

それでも最後には立派な候補者達が揃い、ブリズベンでの世界大会での選挙結果を楽しみにしています。

国際理事を務めさせて頂いた前期同様、今期も貴重な役目を果たさせて頂きながら、委員会メンバーとは一生続くと思われる友情が築かれたことは大きな財産です。このような素晴らしいチャンスを頂いた事に心から感謝申し上げます。

会長挨拶

この度、北九州ゾンタクラブの会長としての重責を担うこととなりました福島です。入会から6年が経過し、多くを学び、成長させていただいたこのクラブで、会長職を務めることは、私にとって大変光栄であり、同時に責任の重さを感じております。未熟者ではございますが、会員の皆様と共にクラブの更なる発展を目指して努力して参ります。私たちのクラブには忘れられない恩師、故三隅佳子様がいらっしゃいました。三隅様は、私たちがゾンタの精神を学ぶため「三隅塾」を設立され、その指導の下、女性の権利拡張や経済的自立の重要性について学びました。その教えは今日に至るまで私たちの行動の指針となっています。悲しみに暮れる中、三隅様が2018年に逝去された後も、織田由紀子先生がその教えを引き継ぎ、月一回の勉強会を続けています。

この会報を通じて、私が会長として皆様と共に創り上げていく北九州ゾンタクラブの新しい章にご期待いただければと思います。私たちの活動に対する変わらぬご支援とご協力をお願いするとともに、クラブの一層の発展を目指してまいります。これからの2年間、皆様と共に歩いていくことを楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



会長 福島 大亮

2年の任期を終えて

紫陽花の美しい季節となりました。日頃は北九州ゾントクラブの活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。任期を終えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

会長を拝命した時は、正にコロナ真っ只中の時でした。対外的な取り組みも計画しては断念という状態が続き、十分な活動ができないことに不安ともどかしさを感じたものです。そのコロナウィルスが5類に移行して一年。以前の日常がみるみるうちに戻り、従来の活動を計画実行できるようになったことが何より嬉しいことでございました。

2年を振り返り、クラブ会員の皆様にご満足いただけるクラブ運営ができていただろうかと反省することしきりですが、会員の皆様が委員会活動や収益事業を懸命に活動してくださり、未熟な私をお支えくださったおかげで任期を全うすることができたことに、心より感謝申し上げます。

今後とも北九州ゾントクラブの活動をご支援くださいますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。



河邊 政恵

国際ゾンタ 26 地区 第 17 回会地区大会



テーマは、
“女性と少女のためのより良い世界を築く”
私が参加したのは、10月6日金曜日の地区大会1日目、ウテ国際会長のお話があり、通訳は木下国際指名委員と福島副会長でした。私は少し誇らしかったです。お2人が輝いて見えました。

河邊会長から大会の感想を求められて、最初に思ったのは会場の皆様の一体感でした。目的に向かって進んで行くことの素晴らしさを感じました。

国際ゾンタ26地区の地区大会に短い時期ですが参加させて頂き有難うございました。そして最後に、ウテ・ショルツ国際会長は笑顔が素敵な方でした。



会員委員会 田淵 祐子

会員卓話 落水洋介氏



10月16日 18時30分～ 「難病がくれた宝物」
今回の会員卓話は、株式会社PLS 代表取締役
落水洋介さんでした。

一人でも多くの方に聞いていただきたく、そして一人でも多くの方に北九州ゾンタクラブを知っていただくために会場での講演と、オンラインでのハイブリッドにて開催させていただきました。会場、オンライン合わせて、74名の方にご参加頂くことができました。

どんな困難に遭遇しても、「前向きは技術」といって、いつも笑顔で、周りの人達を元気にしていく落水洋介さん、体が動く限り、言葉が喋られる限り、1回、1回の講演に全力で向き合っているそうです。

こうやって一緒に活動できる事を心から大変嬉しく感じます。

いつもありがとうございます。

国連・広報委員会 眞鍋 孝輔

「ZONTA Says NO 月間」募金



11月25日から12月10日まで、女性に対する暴力にNOと言うアドボガシーキャンペーンにて今年は、一足早く、11月11日に小倉駅で北九州ゾンタクラブ会員と、西南女学院大学ゴールデンZクラブの皆様とも一緒に募金活動をさせていただきました。15時～17時まで、人通りはますますでしたが、まだまだ「ZONTA Says NO」月間の認知度は低く、多くの方がこのようにキャンペーンがある事を知らなかったとおっしゃってました。ただ、一人でも多くの方に知っていただくのと、皆で一生懸命呼びかけ、募金よりも私達の活動を知っていただくため皆さん最後の最後までずっと声掛けして、活動内容をアピールさせていただきました。募金は、国際ゾンタへ寄付をさせていただきました。ありがとうございました。



アドボガシー・奉仕委員会 渡部 琴子

ハートフル・パーティ 2024

小松真知子&タンゴクリスタルディナーショー



12月6日、ハートフルパーティーは、華やかに開催されました。

今回は、小松真知子&タンゴクリスタルの皆様の素晴らしいタンゴで私達を魅了してくれました。

Diego and Aldana、2人のタンゴが始まった瞬間、会場の拍手が最高潮に会場の誰もを魅了するタンゴは、出席頂いた皆様の記憶に残ったと感じます。

また、小松真知子さんのピアノも最初から最後まで、本当に美しい音色を奏でいただきました。料理もとても美味しく、そして今年は、豪華景品のくじも準備ができて皆様本当に、笑顔があふれる一日にすることができました。

是非、また北九州ソントクラブに来ていただきたいと心から願う小松真知子&タンゴクリスタルの皆様のショーでした。

最後に、準備から当日の運営まで、北九州ソントクラブの会員の皆さん、そして西南女学院大学ゴールデンZクラブの皆さん、大変ありがとうございました。

国連・広報委員会 三宅 まゆみ

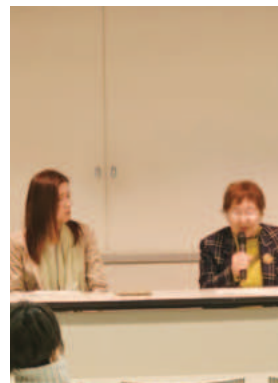
北九州ゾンタクラブ 新年会



2024年1月26日に、定例会及び新年会を、JR門司港駅2階マリーゴールドにて行いました。会場は国指定重要文化財の門司港駅2階にあり、関門海峡も望めるレストランで、美味しいフレンチ料理とお酒を味わいました。1月がアメリカ・イアハートマンスであることから、アメリカ・イアハートについて思うこと・考えたことを会員一人ずつ、みんなの前で発表し、学びも深まる内容となりました。私は北九州ゾンタクラブが互いを理解しあい学びあえるクラブであると再確認しました。みんなで歌を歌い、眞鍋会員のご協力で獅子舞いに頭を噛んでもらいました。最後に写真撮影をして、満足のゆく会を終えました。

会員委員会 中山 聡子

ローズデイ記念 国際女性デー



2024年3月3日(日)ローズデイ記念事業は、認定NPO法人ロシナンテス川原佳代氏の講演会を開催しました。テーマは「アフリカの女性から学んだこと」～今、私たちができる事を考えよう～

1部を川原様の講演会とし、21年前からのアフリカの女性の変化についてご講演頂きました。

2部では4名のパネラーによる、日本とアフリカの女性の違いや、ジェンダーギャップ、また、これからについてファシリテーターの進行によりディスカッションをしました。参加者の皆さまは、リアルとオンラインのハイブリッドでした。

参加者からは、現社会での「あたりまえ」についてや「これから」についても深く考えさせられました。とのお声を頂き、今後の資となることが出来たと感じました。

アドボカシー・奉仕委員会 芳賀 眞理子

外部講師卓話



外部講師として西南女学院大学主催のスピーチコンテストKANAME杯ゾンタ賞入賞者福岡市立福岡女子高等学校3年生一瀬はるかさんをお招きし「Be Yourself」という題でお話いただきました。ランドセルの色選びからはじまって、男女の違い思い込み等、なめらかな英語と分かりやすい日本語で自立する女性、ゾンタの目指すところを上手に表現されて将来が楽しみです。

会員委員会 千代丸 孝子

西南女学院大学ゴールデンZクラブ「コロナ禍を超えて」

2023年度は、やっとコロナ禍以前の活動ができるようになった年である。いろんな制限の中、できる範囲でやっていたものの、実際に活動が再開されると、一度も経験していないのにリーダーとして下級生を導かなければならない困難に直面したりしたが、周囲の方々のサポートもあり、少しずつ活動が再開できている。1月にはカンボジアの学生を受け入れ、学内で交流会を開催した。また2月には2名の学生がカンボジアを訪問し、高校に図書や文房具を寄贈したり、1月に受け入れたカンボジアの学生の案内でフィールドワークを行ったりした。通常通りの活動ができるようになり、学生たちは体験を通した学びの尊さを実感しているようだ。



西南女学院大学ゴールデンZクラブ 顧問 塚本 美紀

北九州ゾントクラブ2023年度事業報告 2023年(令和5年)6月1日～2024年(令和6年)5月31日

2023年

月	日	事業内容
6月	2日	第12回 役員会 年次総会・第1回定例会 2022年度 会報発行
	19日	
	19日	
月	日	事業内容
7月	1日	第1回 役員会 第2回 定例会 三隅塾
	18日	
	18日	
月	日	事業内容
8月	5日	第2回 役員会 第3回 定例会 三隅塾
	21日	
	21日	
月	日	事業内容
9月	2日	第3回 役員会 第4回 定例会 (会員卓話) 三隅塾
	19日	
	19日	
月	日	事業内容
10月	7日	第4回 役員会 第5回 定例会 三隅塾
	16日	
	16日	
月	日	事業内容
11月	4日	第5回 役員会 国際ZONTA生誕103年 第6回 定例会 三隅塾 ZONTA Says NO月間
	8日	
	20日	
	20日	
	25日	
	12/10日	
月	日	事業内容
12月	2日	第6回 役員会 ハートフルパーティー 第7回 定例会 三隅塾
	6日	
	18日	
	18日	

2024年

月	日	事業内容
1月	6日	アメリカ・イアハート月間 第7回 役員会 第8回 定例会 三隅塾
	15日	
	15日	
月	日	事業内容
2月	3日	第8回 役員会 第9回 定例会
	19日	
月	日	事業内容
3月	2日	国際女性デー (ローズデイ)月間 第9回 役員会 ローズデイ記念事業 第10回 定例会 三隅塾
	3日	
	18日	
	18日	
月	日	事業内容
4月	6日	第10回 役員会 第11回 定例会 (外部卓話) 三隅塾
	15日	
	15日	
月	日	事業内容
5月	2日	第11回 役員会 第12回 定例会 三隅塾 会報発行
	20日	
	20日	

令和 6 年度会員一覧 2024 年 (令和 6 年) 6 月～2025 年 (令和 7 年) 5 月

◎= 委員長

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	福島 大亮	監 査	千代丸 孝子
副会長	芳賀 真理子	財務・プログラム委員会	◎河邊 政恵、日野 久美子、金子 美奈子、福原 公子 (休)、神谷 麻里 (休)
書 記	中山 聡子	アドボカシー・奉仕委員会	◎塚本 美紀、芳賀 真理子、木下 彰子、末吉 房代、渡部 英子、水嶋 章陽、
会 計	日野 久美子	国連・広報委員会	◎眞鍋 孝輔、落水 洋介、籠田 淳子、千代丸 孝子、三宅 まゆみ、坂本 直美 (休)
特別会計	金子 美奈子	会員委員会	◎田淵 祐子、眞鍋 孝輔、福島 大亮、天川 悦子、中山 聡子
理 事	末吉 房代、木下 彰子、河邊 政恵	名簿担当	福島 大亮

毎月 / 役員会 (第 1 日曜日) 男女共同参画センタームーブ・定例会 (第 3 月曜日) リーガロイヤルホテル小倉

寄付活動	女性活躍団体への寄付金	特定非営利活動法人 ロシナンテス	ゾント女性財団
------	-------------	------------------	---------